

## 第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	グローバルキッズ 都筑ふれあいの丘園
経営主体(法人等)	株式会社グローバルキッズ
対象サービス	保育所
事業所住所等	〒224-0061 横浜市都筑区大丸9-16
設立年月日	平成22年4月1日
評価実施期間	平成25年2月～平成25年5月
公表年月	平成25年7月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市評価基準
<b>総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項等）</b>	
<p><b>【【施設の特徴】</b></p> <p><b>1. 立地の面から見た特色</b>                  2010年4月に開園し、現在0～5歳児77人が在園している。横浜市営地下鉄都筑ふれあいの丘駅から徒歩7分の、交通量の多い大通りに面した5階建てビルの1階に位置している。                  園舎の裏手は静かな住宅街で小鳥のさえずる公園や緑道があり、自然に触れることができる。                  1～5歳児までの保育室は透明なアクリル板で仕切られ、一望できるオープンなつくりで、異年齢の子どもたちがアットホームな雰囲気生活している。</p> <p><b>2. 多様なカリキュラムの提供</b>                  絵画、制作、歌、リズム遊び、リトミック、英語、近隣の公園散歩、異年齢での保育など、多様な保育サービスを提供している。</p> <p><b>【特に優れていると思われる点】</b></p> <p><b>1. 保育参加への取り組み</b>                  保護者に実際の保育に参加してもらい、保育士役をして保育の仕方を学び、給食を試食し、子どもの日常の園生活を理解してもらっている。1週間の期間を設定して、20名ほどの保護者が参加している。日程は幼児と乳児の日をわけて、保護者に都合のいい日を選んでもらい、保護者が参加しやすいように配慮している。</p> <p><b>2. 言葉の意味を歌で伝える</b>                  今月の言葉を設定し歌にして、朝の会や散歩のおりに歌っている。たとえば2月は「きっとできる」という言葉を決めて、「きっとできる」、「失敗をおそれたら何も始まらない」、「きっとできるよ」と歌い、歌に合わせた踊りや手話も取り入れて、楽しみながら言葉を理解するようにしている。</p> <p><b>【特に改善や工夫などを期待したい点】</b></p> <p><b>1. 保育園の専門性を活かして地域交流を</b>                  地域が新しい住宅地であり、子育て世代も多くいるので、育児相談等を行い、地域の子育てに保育園として寄与することを期待します。</p>	

## 2. 第三者委員と苦情処理体制の見直し

第三者委員を、園の行事に招待するなどして、保護者との交流を図り、気軽に相談できる関係を作れることを希望します。そのうえで、第三者委員を加えた苦情処理体制を作り、保護者からの要望・苦情を記録して、職員間での共有をはかることを期待します。

### 評価領域ごとの特記事項

<b>1.人権の尊重</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・保育マニュアルを基に子供を尊重する姿勢を職員会議等で確認しており、罰を与えたり、傷つけるような言動をしないよう職員は気を配っている。</li><li>・1対1で話し合える場所として、ホールや職員休憩室があり、必要に応じて子どもが落ち着くまで過ごすことができる。</li><li>・守秘義務については入社時に職員に誓約書を出させ、採用後も必要に応じて職員会議で伝えている。実習生に対しては実習の開始時に誓約書を取ることにしている。</li><li>・虐待防止については保育マニュアルに基づき、職員は日常の保育で早期発見に留意し、疑われる現象を発見した場合は都筑区福祉保健センターのこども家庭支援課や横浜市北部児童相談所と連携できる体制になっている。</li><li>・職員は日常的な食事や遊びのグループ分けや行事の役割、持ち物や服装などに性差によって区別は見られない。子どもや保護者に対して、性別によって役割を固定的にとらえた話し方をしないよう配慮している。</li><li>・子ども同士のトラブルは、職員は注意深く見守り、双方の言い分をよく聞いて、お互いが納得した解決になるよう支援している。</li></ul>
<b>2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・各保育室が低い棚で仕切られ、1歳児～5歳児は棚より、成長に合わせたおもちゃや、絵描き道具、絵本がいつでも自由に取り出して遊べるようになっていきます。ホールを使った一斉遊びの時間は思い切り動け、保育室でのお絵かきなどの時間と、遊び方を分けたりしている。</li><li>・食事は完食や嫌いなものを無理強いせず、食べられたら褒めるようにして、食事に対する子供の楽しさを損なわないようにしている。子どもが「食」への関心を持つように、クッキングをしたり、幼児が食事の当番をしたりしている。栄養素を、クイズ形式で楽しみながら学び、年間指導計画の「食育」に繋げている。</li><li>・保護者には献立表、給食だより、レシピ等の配付や毎日の給食、おやつの展示に加え、保育参加の折に給食を試食してもらい、栄養・味付け・食べ方等の配慮を知らせている。</li><li>・午睡の時は眠れない子は無理に寝かせず、静かにさせるようにしたり、オルゴールをかけて、心地よく眠りにつけるよう工夫している。ときには、抱いたり、体をさすったり、添い寝をして、寝つけるよう支援している。</li><li>・排泄は個人差を大事にして、トイレトレーニングは家庭と連絡帳で連絡を密にして、その子どものペースに合わせて進めている。</li></ul>
<b>3.サービスマネジメントシステムの確立</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・設置法人の運営理念は「子ども達の未来ために」で「豊かに生きる力を育てる」を保育理念としています。園目標は「元気なたくましい、自分で考え、思いやりのある子ども」で、子どもを尊重する考えは一貫している。</li><li>・入園前の子ども同伴の面接で子どもの観察もして、それまでの子どもの様子や保護者の要望も聞いて、入園時に生育歴や家庭状況を記入した家庭調査票とともに児童票を作成して、個別ファイルに綴じて保育に活用している。</li><li>・保育課程に基づき、年齢別に年間指導計画、月案、週案を作成している。</li><li>・指導計画は子どもの発達に合わせて柔軟に見直しを行い、保護者からアンケ</li></ul>

	<p>ートで意向を聞いて、重要事項の変更は伝えている。</p>
<p>4.地域との交流・連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の小学校の教員に來園してもらい、小学校での生活や入学に関するお話と勉強会を行っている。</li> <li>・地域の育児を支援するために、事前の登録を随時受け付け、延長保育、障害児保育、一時保育などのサービスを提供している。</li> <li>・地域の子育て支援ニーズを把握するため、地域住民向けの育児相談会や保育に関する講習会の開催を検討されることが望まれます。</li> <li>・近隣の荏田南小学校体育館を借りたり、グループホーム「ゆい青葉」を訪ねて交流している。</li> <li>・散歩に行き、出会う地域の方々と挨拶を交わして交流している。</li> <li>・園の最新情報をホームページで公開したり、区役所に園の案内パンフレットを置かせてもらって地域へ情報提供している。</li> <li>・施設運営が閉鎖的になることを防ぐ意味でもボランティアの受け入れは意義があり、また、実習生受け入れは、次代を担う人材育成に繋がりますので、受け入れ環境は整っていますので、マニュアルの整備をして、受け入れられることを望まれます。</li> </ul>
<p>5.運営上の透明性の確保と継続性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「入園のしおり」、「ホームページ」、「保育課程」に設置法人の運営理念や園の基本方針は、保育室前や職員休憩室入口に掲示すると共に各職員に配付している「保育マニュアル」にも明記してある。</li> <li>・全職員が法・規範・倫理等を遵守すべきこと、就業規則でも明記しており、周知されている。</li> <li>・事業運営の透明性の一環として財務諸表や運営状況を公表している。</li> <li>・運営面での重要改善課題は、全職員に周知し園全体の取り組みとして検討している。</li> <li>・事業運営に影響のある重要な情報は設置法人の本部により収集・分析して園に送付され、園は情報のファイルに綴り、職員の周知を図っている。</li> <li>・園運営については、園長が設置法人による運営関係の研修会に毎月一回出席し、外部の専門家の意見なども聞いて園運営の方向性を研究している。</li> <li>・次代の組織運営に備え、設置法人本部の助言のもと、新たな仕組みを日常的に検討していますが、明文化が望まれます。</li> </ul>
<p>6.職員の資質向上の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は各職員の研修ニーズを聞き、園長独自で職員年間研修計画を作成している。</li> <li>・年2回、園の看護師による「食物アレルギー」、「ウイルス性腸炎」などの課題で内部研修会を開き、関係職員が受講している。</li> <li>・発達支援児等に対する相談・指導のため、横浜市北部地域療育センター職員の巡回があり、指導・助言を受けて保育技術の向上を図っている。</li> <li>・園長は諸会議で出された課題を非常勤職員にも伝え、情報共有と資質向上を支援している。</li> <li>・職員は週ごとに提出する週報に基づき、自己を振り返り、自己評価する仕組みがある。</li> <li>・指導計画の週案・月案、日誌に「評価・反省欄」が設けられており、各自の実践の振り返り・反省が記録されて次回に繋げている。</li> <li>・各職員の経験・能力に応じた役割が期待水準として「保育マニュアル」に明文化されてる。</li> <li>・園長は、職員の要望や満足度を年2回の個別面談で把握し、各人のモチベーションの維持に努めている。</li> </ul>

施設名:グローバルキッズ  
都筑ふれあいの丘園



ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## 評価機関による評価



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

### 評価領域 I 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業理念は「子ども達の未来のために」で「豊かに生きる力を育てる」を保育理念としている。基本方針は子どもたちが毎日楽しいと思える保育園を目指し、安全安心に配慮する等を掲げ、元気なたくましい、自分で考え、思いやりのある子どもを保育の目標としている。子どもを尊重する考えは一貫しており、保育室前の壁に理念を職員・保護者が目につきやすいよう掲示している。職員には理念、基本方針を明記している保育基本ノート（以下保育マニュアル）配付で熟知されている。</li> <li>・保育課程は、年度末に地域、環境、保護者の就労状況に考慮し、全体の職員会議で見直し、保護者に説明している。保育時間は長時間・延長保育を行い、平日7時30分～20時30分で夕食の提供も行っている。</li> <li>・指導計画は年齢別に年間指導計画、月案、週案を作成し、子ども要望を聞き、散歩コース等を決めたり、計画の作成に柔軟性を持たせている。</li> </ul>
<p><b>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園前の子ども同伴の面接で子どもの観察もして、それまでの子どもの様子や保護者の要望も聞いて、入園時に生育歴や家庭状況を記入した家庭調査票とともに児童票を作成して、個別ファイルに綴じて保育に活用している。面接は園長・主任のほか状況により、栄養士・看護師も同席する。</li> <li>・ならし保育は、入園前に保護者に説明して子どもの状況や保護者の実状を考慮し、ならし保育票を活用して行い、子どもが保育園に慣れるよう支援している。</li> <li>・子どもの生活が家庭と連続したものとなるように0～2歳児は複写式の連絡ノートで毎日保護者と連絡を密にとり、3～5歳児も全員連絡ノートを用意して、記入は保護者のペースで連携している。ノートの記述については、適切な表現を心がけて園長・リーダーが指導している。</li> <li>・指導計画の月案・週案の中に反省・評価の欄があり、それを基に担任間や職員会議で検討して、保護者の意見も取り入れて、計画の作成にあたっている。</li> </ul>

### I-3 快適な施設環境の確保



・園舎内外ともに毎日きれいに清掃され、清掃チェック表に記録している。外の花壇にはチューリップなどが植えられ、環境に配慮が見られる。通風・換気は、換気扇や空気清浄機を利用し、温・湿度計を設置して、適性に管理されている。窓の上部や天窓から陽光を取り入れ、各保育室の壁をアクリル板にして、暗くならないよう配慮している。騒音は、アクリル板で保育室を仕切り、職員は声の大きさなどお互いに注意し合っている。

・温水の出る沐浴室やドアで仕切られた温水シャワー室、園庭に温水シャワーの設備を備え、清潔に維持管理されている。

・0歳児は低いパーテーションを使って、遊びの場所を分けたり、キッチンセットなどでコーナーを作ったり、畳の部分で寝る場所としている。1歳児も低いパーテーションで、遊びと午睡・食事に場を分けている。2～5歳児はテーブルの配置で、動的な遊びとお絵かきコーナーを分け、寝具の下にごさを敷き寝る場所としている。

・ホールを朝の会で異年齢交流に利用したり、各年齢が音楽などや寝る場所にも利用している。

### I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



・0～2歳児は個別計画書を作成している。3～5歳児について気になる点は個別の対応を申し送りノートに書き、職員会議で話されている。個別の計画は月1回、定期的に見直すほか子供の状態に合うよう柔軟に変更・見直しを行っている。

・見直した指導計画は必要箇所を保護者に説明し、同意を得ている

・入園前の家庭調査票にある子供の成育歴や家庭状況、入園面接時に聞き取った保護者の要望を記載した児童票や毎月の身体測定のほか、歯科健診等の成長発達記録を個別ファイルに綴って、職員はいつでも見て共有を図っている。

・子どもの児童票が進級時に新担任に渡され、伝達されている。

<コメント・提言>

幼児も特別な配慮が必要な子どもの個別計画書が作成されることを希望します。

### I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ・配慮を要する子どもについてケース会議をして対応を話し合い、申し送りノートに記入して職員間で情報を共有している。
- ・障害の特性を考慮して支援の必要な子どもについて個別指導計画が週案でつくられ、状況に応じて対応している。保育室や廊下の床に段差はなく、障害者トイレが設置されており、障害児保育の環境整備がされている。北部地域療育センターの巡回指導を受けて、子どもの対応等を相談する体制をとっている。
- ・虐待は保育マニュアルの登園時対応で、子どもの心身を観察して、いつもと違う点を発見することを定義として職員の周知を図っている。虐待が明白になった場合は、設置法人、都筑区福祉保健センター、北部児童相談所等に常に連絡できる体制になっている。
- ・食物アレルギーは保護者と入園前面接で確認しており、代替食や除去食の提供は毎月の献立表を事前に確認してもらって、提供時は職員間で声掛けをして誤食を防止している。アレルギーの知識や情報共有のために、アレルギー票が職員に渡され、常勤の看護師から研修を受けている。
- ・過去に外国籍で日本語を話せない子どもを受け入れたことがある。外部講師による英語の時間があり、子どもたちが講師の外国人に接して、文化や生活習慣の違いに触れている。

### 評価分類



### 評価の理由（コメント）

### I-6 苦情解決体制



- ・要望・苦情を受ける担当に園長、設置法人のほか第三者委員の名も園のしおりに明記している。
  - ・保護者に対して、夏祭りや、運動会などの行事の後にアンケートや運営委員会、懇談会、個人面談の機会に意見・苦情・要望を聞いている。
  - ・マニュアルに事故・ご意見ご要望（苦情等）対応の流れを明記し、法人及び外部の相談機関との対応を具体的にチャートにして、すぐみられるよう職員休憩室に掛けている。
  - ・園児の権利に関することなどは北部児童相談所や、都筑区福祉保健センターの保健師と連絡を取る体制になっている。
  - ・設置法人の園長会議での事例等を職員会議で伝えて職員の理解、周知を図っている。
  - ・園のしおりのなかで、行政の相談・苦情窓口として都筑区福祉保健センターこども家庭支援課を紹介している。
- <コメント・提言>
- ・苦情対応のマニュアルはありますが、第三者委員を交えたものにするのと行事等に招待して、保護者と交流されることが望まれます。
  - ・アンケートの結果や過去の苦情等のデータをファイルに残し、活用されることを希望します。

## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅱ－１ 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各保育室が低い棚で仕切られ、1～5歳児は棚から、成長に合わせたおもちゃや、絵描き道具、絵本をいつでも自由に取り出して遊んでいる。ホールを使った一斉遊びの時間は思い切り動いて、保育室でのお絵かきなどの時間と遊び方を分けている。</li> <li>・職員は子どもの店屋に対する興味を活かし、異年齢で店屋と買い物客になる集団活動につなげるなど、日常の遊びのなかで自由な発想を受け止めている。子どもは異年齢で遊ぶ楽しさや、友達との関わりやルールを守ることを学んでいる。</li> <li>・カブトムシの飼育や花壇づくりをしたり、野菜の栽培で、食育につなげている。公園散歩の際に自然に触れたり、地域の方に挨拶したり、高齢者施設訪問で地域交流を体験している。</li> <li>・リトミックやリズム遊びをとりいれ、自由に踊りで表現したり、個別の道具箱を用い、絵を描いたり、廃材で制作したり、子どもの自発的な活動を促している。</li> <li>・職員は子どもの目線に合わせ、優しい言葉で丁寧な話しかけている。子ども同士のけんかの場合も公平な態度で接し、信頼関係を築いている。</li> <li>・健康に配慮しつつ、散歩やリレー、サッカー、ドッジボールなどのスポーツを取り入れ子どもの健康増進を図っている。</li> </ul> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今月の言葉をきめ、踊りや手話も交えて歌にして、子どもたちが楽しみながら言葉の意味を理解できるようにしている。</li> </ul>
<p>Ⅱ－１ 保育内容[生活]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事は完食や嫌いなものを無理強いせず、食べられたらほめるようにして、食事に対する子どもの楽しさを損なわないようにしている。子どもが「食」への関心を持つように、クッキングをしたり、幼児が食事の当番をしたりしている。栄養素を、クイズ形式で楽しみながら学び、年間指導計画の「食育」につなげている。</li> <li>・献立は旬のものを取り入れ、子どもたちが栽培した食材を使うなど、食欲がわくように調理・盛り付けに留意している。</li> <li>・給食の食材は新鮮なものを購入し、食器は子どもの成長に合わせ、年齢ごとに使いやすい形状のものを使用している。</li> <li>・栄養士は各クラスを回って喫食状況や献立の好き嫌い、残食を把握し、給食会議で話し合い、献立や食材の切り方や調理の工夫に反映させている。</li> <li>・保護者には献立表、給食日より、レシピ等の配付や毎日の給食、おやつ展示に加え、保育参加の時に給食を試食してもらい、栄養・味付け・食べ方等の配慮を知らせている。</li> <li>・眠れない子は無理に寝かせず、静かに過ごすようにしたり、オルゴールをかけて、心地よく眠りにつけるよう工夫している。</li> <li>・排泄は個人差を大事にして、トイレトレーニングは家庭と連絡を密にして、その子どものペースに合わせて進めている。</li> </ul>

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- ・健康管理は「保育マニュアル」「感染症マニュアル」などに基づき、健康記録の個人別ファイルを作成して、保護者と連携し対応している。
- ・年2回の健康診断、年1回の歯科健診を行い、結果は保護者に知らせている。
- ・保育中の発熱などの体調不良は、保護者に連絡の上、職員休憩室で安静に過ごし、迎え時、保護者に降園後の対応を含め伝えることにしている。
- ・歯磨き指導は2歳児より行い、仕上げを手伝っている。
- ・感染症マニュアルがあり、入園時に感染症の対応や登園停止基準などが記載された入園のしおりを保護者へ渡して説明している。
- ・感染症発生の際には、横浜市や設置法人から情報はいり、早急に玄関ホールに掲示すると共に、クラスのボードに記載し保護者全員への周知を図っている。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]





- ・衛生管理に関して感染症と保育マニュアルがあり、園長と2人の主任が中心となり、年度末や必要時は見直し改善を図っている。その見直しで清掃のやり方を検討して、清掃マニュアルが作られている。
- ・職員は入社時のオリエンテーションのほか、園長からも研修をうけ、保育マニュアルを渡され、日々活用して、周知している。
- ・清掃マニュアルに基づき、日々清掃が行われ、結果を清掃チェック表に記入している。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]

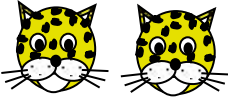



- ・保育室が見渡せる造りで、低い間仕切部分の棚が固定されており転倒の危険はない。棚の上も、安全を考慮して、重いものを置かないよう気をつけている。
  - ・看護師が、救急救命法の研修を受けている。
  - ・緊急連絡体制を整備して、地震・火災・不審者などの緊急時に設置法人や他機関への通報の仕方がチャートに作られ、いつでも活用できるようにしている。
  - ・災害伝言ダイヤルや、保護者の職場からの引き取り訓練をおこない保護者に迎えまでの時間を把握してもらっている。避難訓練は決められた避難場所のいずれかに毎月行っている。
  - ・事故や、けがの場合、嘱託医の病院ですぐ対応でき、また救急病院のほか、都筑区福祉保健センターの子ども家庭支援課への連絡体制ができています。保護者にはお詫びと報告をして、職員間で話し合い、再発防止に気をつけている。
  - ・玄関の開錠はモニターで確認してから行い、玄関の内側のドアも施錠できる。
  - ・不審者に対して警察や設置法人など緊急連絡通報体制ができています。
- <コメント・提言>
- ・怪我や改善策などもインシデントレポートのファイルを作り、記録として残すよう希望します。
  - ・不審者の情報が関係機関、近隣住民等から得られるネットワークを作ることが望まれます。

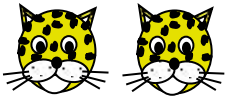


評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="185 176 448 208">Ⅱ－3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育マニュアルを基に子どもを尊重する姿勢を職員会議等で確認しており、罰を与えたり、傷つけるような言動をしないよう職員は気を付けている。</li> <li>・1対1で話し合える場所として、ホールや職員休憩室があり、必要に応じて子どもが落ち着くまで過ごすことができる。</li> <li>・守秘義務については入社時に職員に誓約書を出させ、採用後も必要に応じて職員会議で伝えている。実習生に対しては実習の開始時に誓約書を取ることにしている。</li> <li>・職員は日常的な食事や遊びのグループ分けや行事の役割、持ち物や服装などに性差によって区別をしていない。子どもや保護者に対して、性別によって役割を固定的にとらえた話し方をしないよう配慮している。</li> </ul> <p data-bbox="724 595 983 622">&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取り扱いの点から、ファイルの保管場所の管理は施錠をより徹底されることを望みます。</li> </ul>
<p data-bbox="185 790 596 822">Ⅱ－4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者には、入園前に理念、保育方針を明記した入園のしおりを渡して、入園前面接のときに園長から理念・基本方針を詳しく説明する機会を設けている。</li> <li>・個々の保護者との情報交換は0～2歳児は毎日、連絡帳で保育園での様子を伝え、3～5歳児も全員連絡帳はあるが、保護者のペースで書かれるので、口頭での伝達をより重視している。</li> <li>・保護者との個別面談は年2回行ない、ほかに希望にいつでも応じ、クラス懇談会は年2回行ない、子どもの様子や保育内容について説明をしている。</li> <li>・園生活の様子は園だよりを毎月発行して、月の行事予定やクラスの様子を知らせ、ほかに、献立表、離乳食献立表、給食便り、保健便りを毎月発行しており、季節に合わせて、レシピも数回渡している。園内の全保育室にホワイトボードを用意して、その日の保育の様子や伝えたい情報を掲示している。</li> <li>・保育参加は、参加できる週をきめ、希望日を決めてもらい、給食の試食をしたり、子どもたちと触れ合って職員の保育の仕方を体験から学んでもらっている。</li> <li>・保育参加、懇談会等に出席できなかった保護者へは、懇談会議事録や、決定事項等を書面にして渡すほか、職員が質問に答えている。</li> <li>・日常の保育の様子を年度末にプロジェクターを使って映像で伝えたり、職員やプロのカメラマンが写真に撮って有料で提供している。</li> </ul> <p data-bbox="724 1592 983 1619">&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の自主的活動ができるよう、組織化を援助することが望まれます。</li> </ul>

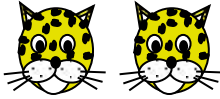
### 評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の小学校の教員に来園してもらい、小学校での生活や入学に関するお話と勉強会を行っている。</li> <li>・地域の育児を支援するために、事前の登録を随時受け付け、延長保育、障害児保育、一時保育などのサービスを提供している。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子育て支援ニーズを把握するため、地域住民むけの育児相談会とか保育に関する講習会・研修会の開催を検討されることが望まれます。</li> </ul>
<p>Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携担当者は園長が務めている。</li> <li>・都筑区役所のこども家庭支援課とは日常的に密に連絡を取っており、発達支援児に対しては横浜市北部地域療育センターと密接に連絡を取っている。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線汚染や感染症の状況など行政や医療機関からの情報は保護者には提供されていますが、地域住民にも提供されることが望まれます。また、保育園の専門性を活かした定期的な相談事業も行うよう期待します。</li> </ul>

### 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の荏田南小学校体育館を借りての運動会やグループホーム「ゆい青葉」を訪ねて交流している。</li> <li>・運動会の際は、近隣の住民に騒音や駐車自動車の件で協力をお願いと挨拶回りをしている。</li> <li>・殆んど毎日、天気が良ければ「見花かりん公園」や「大丸からたち公園」へ散歩に行き、出会う地域の方々と挨拶を交わして交流している。</li> <li>・地域へのプール活動で近隣の「みどり保育園」のプールを借りて楽しんだり、都筑区保育園ドッジボール大会に出るなど、地域行事に参加している。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会やボランティアグループと協力して「敬老の日」や「運動会」等の行事を計画的に行い、地域住民の理解促進に役立てることが望まれます。</li> </ul>

#### IV-2 サービス内容等に関する情報提供



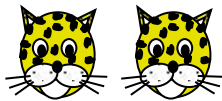
- ・最新情報をホームページで公開したり、区役所に園の案内パンフレットを置かせてもらっている。
  - ・認可保育園として、横浜市や区役所のホームページで運営方針やサービス内容等の情報を提供しており、将来の利用者である見学者には園のパンフレットを渡している。
  - ・見学者の都合を考慮して、突然の訪問でも土曜日や日曜日以外なら、見学を受け入れている。
  - ・園の利用条件やサービス内容に関する問い合わせには園長が常時、対応している。
- <コメント・提言>
- ・保育園サイトのまみたん園ナビなどに園の情報を提供することを期待します。

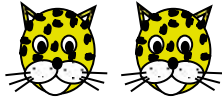
#### IV-3 実習・ボランティアの受け入れ



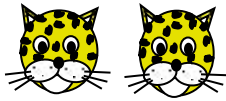
・ボランティアや実習生を受け入れるためのマニュアル等が作成・整備されていない。  
 ・園長と主任が受け入れ担当者と決められているが、受け入れた実績や記録がない。  
 ・最近数年、受け入れ実績がないものの、園としては、問い合わせがあれば対応する方針である  
 <コメント・提言>  
 ・ボランティア受け入れは地域住民の理解や協力を得るために有効ですし、実習生受け入れは、次代を担う人材育成に繋がるのみでなく、日常の保育を振り返る機会にもなりますので、前向きな取り組みが期待されます。又、受け入れマニュアル等の作成・整備は早急に行われることが望まれます。

### 評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<p>・個々の職員は日常の保育業務につき目標や反省を記載する「週報」を作って、自己の資質向上に努めている。                  ・園長は人材構成が適切か否かを確認し、必要に応じ設置法人本部に人材の補充を求めている。                  ・園長は各職員の研修ニーズを聞き、園長独自で職員年間研修計画を作成している。                  ・年2回、園の看護師を先生役に「食物アレルギー」、「ウイルス性腸炎」、「SIDS」などの課題で内部研修会を開き、関係職員が受講している。                  ・園長は諸会議で出された課題を非常勤職員にも伝え、情報共有と資質向上を支援している。                  &lt;コメント・提言&gt;                  園長が作成している年間職員研修計画は、必要な職員全員が必ず受講できる計画となるように改善が望まれます。</p>

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<p>・職員は週ごとに提出する週報に基づき、自己を振り返り、自己評価する仕組みがある。                  ・発達支援児に対する保育技術指導のため、横浜市北部地域療育センター職員の巡回があり、園では勉強会を開いて指導・助言を受けている。                  ・各職員は園児の健康状態の把握やヒヤリ・ハットなどの振り返りを通して自己の保育技術を評価し、次の指導計画に改善を反映している。                  ・第三者評価受審を機に、全職員による個別自己評価を行い、園全体としての課題と、取り組み方を話し合っている。                  ・今回が第三者評価受審の最初なので、自己評価の公表は行っていない。</p>

V-3 職員のモチベーションの維持

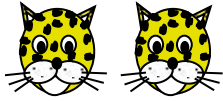



- ・各職員の経験・能力に応じた役割が期待水準として「保育マニュアル」に明記されている。
- ・園長は業務の改善提案を出し易い環境作りを心がけ、意見を聞く為の話し合いを行っている。
- ・園長は年2回職員と個別面談し、要望や満足度を把握し、職員のモチベーション維持に努めている。
- ・何かあれば園長または主任に報告するシステムを採用している。

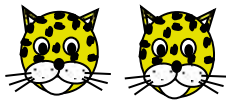
<コメント・提言>

- ・緊急時等の状況に応じ、職員が自主的に判断できるように園長からの権限の委譲を整備されるよう期待します。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が法・規範・倫理等を遵守すべきこと、就業規則でも明記しており、周知されている。</li> <li>・事業運営の透明性の一環として財務諸表や運営状況を公表している。</li> <li>・裏紙の利用、トイレトペーパーの芯を集めて遊具作成など、ゴミ減量化・リサイクルに取り組んでいる。</li> <li>・こまめに電気を消すとか、エアコンの温度調整をするなど省エネに取り組むと共に、ブランターでひまわりやチューリップなどの草花を植え、年長児が水やりをするなど、緑化にも取り組んでいる。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境への取り組み方や考え方を明文化して、園運営に活かすことが期待されます。</li> </ul>
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の理念や基本方針は職員休憩室入口のドアに掲示すると共に、各職員に配付している「保育マニュアル」にも明記してある。</li> <li>・職員会議では理念や基本方針を声をあげて読み合わせ、理解できている事を互いに確認している。</li> <li>・重要な意思決定に際し、園長は先ず職員に目的、理由、経過等を説明して理解を求め、保護者には手紙や園内掲示、更に必要により口頭で説明を尽くしている。</li> <li>・主任は職員のシフト調整を行うなかで、職員一人ひとりが精神的・肉体的に良好な状態で、業務遂行できるよう配慮している。</li> <li>・主任は新任保育士やその他職員の能力や経験にあわせて、適切な助言や指導を行っている。</li> <li>・スーパーバイズできる主任を計画的に育成するプログラムがあり、主任が参加している。</li> </ul>

### VI-3 効率的な運営



- ・重要な情報は園長と主任が話し合い、全職員で共有できるよう、重要改善課題としている。
  - ・運営面での重要改善課題は、全職員に周知し園全体の取り組みとして検討している
  - ・次代の施設運営については、設置法人本部の助言と指導のもと、園長候補育成を含め次代の経営幹部の計画的育成に努めている。
  - ・園長は毎月1回、施設運営に関する研修会に出席し、外部の専門家の意見を聞いて園運営の方向性を研究すると共に、経営意識の向上に努めている。
- <コメント・提言>
- ・中長期計画が文書化されていません。外部環境の変化に対応し、進むべき方向を明確にするためにも、中長期計画の作成が望まれます。

## 利用者家族アンケート

施設名:グローバルキッズ  
都筑ふれあいの丘園

### 結果の特徴

#### ◇ 調査対象

調査時点での在園児数 77 名、全保護者 67家族を対象とし、回答は43家族からあり、回収率は 64 %だった。

#### ◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で 保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収した。

#### ◇ 総合満足度

肯定的な回答は 86% (満足 44%、どちらかといえば満足 42%) であった。

#### ◇ 満足度の高い項目

- 1) 生活については、7項目の設問全体で肯定的な回答が87%あり、園における生活は高く評価されている。
- 2) 職員の対応については、5項目の設問全体で肯定的な回答が84%あり、職員への信頼が高い。

#### ◇ 満足度の低い項目

- 1) 基本理念・方針については、「よく知っている」が0%、「まあ知っている」が53%と低く、保護者への十分な説明が必要と思われる。但し、「まあ知っている」と回答したうち肯定的回答（「賛同できる」「まあ賛同できる」）が88%を占めている。
- 2) 年間の保育や行事に関する説明、保護者の要望の反映については、2項目の設問全体で、否定的な回答が23%あり、保護者とのコミュニケーションについて工夫が必要と思われる。
- 3) 遊びについては、6項目の設問全体で否定的な回答が17%あり、戸外遊びや、おもちゃなどへの要望が強い。
- 4) 園の快適さや安全対策については、4項目の設問全体で否定的な回答が29%あり、施設設備や不審者侵入対策などに関して保護者の意見を確認し対応する必要があると思われる。
- 5) 園と保護者との連携・交流については、送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換や連絡体制について否定的な回答が25%あり、保護者への日常的な情報提供の仕方について工夫が必要と思われる。

## 調査結果

### ■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	0%	53%	19%	26%	2%	0%

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

#### 付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	36%	52%	12%	0%	0%	0%

### ■施設のサービス内容について

#### 問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	33%	33%	7%	2%	25%	0%
	その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	28%	44%	14%	5%	9%	0%
	その他:					
園の目標や方針についての説明には	26%	51%	14%	5%	4%	0%
	その他:					
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	42%	40%	14%	0%	4%	0%
	その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	36%	53%	9%	2%	0%	0%
	その他:					
入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については	44%	37%	7%	9%	2%	
	その他:					

#### 問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	30%	42%	21%	2%	5%	0%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	21%	51%	21%	2%	5%	0%
	その他:					



#### 問4 日常の保育内容について

##### 遊びについて

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	47%	37%	16%	0%	0%	0%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	47%	35%	16%	2%	0%	0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	42%	40%	12%	5%	2%	0%
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	40%	37%	16%	7%	0%	0%
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	37%	51%	12%	0%	0%	0%
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	35%	47%	16%	0%	2%	0%
	その他:					

##### 生活について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	51%	34%	14%	1%	0%	0%
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	51%	33%	12%	2%	2%	0%
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	42%	49%	5%	2%	2%	0%
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	42%	46%	5%	0%	5%	2%
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	40%	40%	2%	0%	16%	2%
	その他:					
お子さんの体調への気配りについては	49%	47%	4%	0%	0%	0%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	57%	30%	9%	2%	2%	0%
	その他:					

### 問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	12%	28%	40%	19%	1%	0%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	23%	49%	9%	12%	7%	0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	28%	44%	22%	5%	1%	0%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	42%	47%	7%	2%	2%	0%
	その他:					

### 問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	27%	60%	9%	2%	0%	2%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	42%	42%	9%	3%	2%	2%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	47%	35%	9%	5%	2%	2%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	33%	40%	23%	2%	0%	2%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	29%	42%	23%	2%	2%	2%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	42%	47%	9%	0%	0%	2%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	56%	35%	0%	2%	2%	5%
	その他:					

### 問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	49%	44%	5%	0%	0%	2%
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	49%	40%	9%	0%	0%	2%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	35%	33%	5%	5%	14%	8%
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	45%	51%	2%	0%	0%	2%
意見や要望への対応については	35%	37%	16%	5%	5%	2%

### 問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	44%	42%	14%	0%	0%

## 観察方式による利用者本人調査

平成 25 年 3 月 25 日、28 日

施設名：グローバルキッズ 都筑ふれあいの丘園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

### **[0~5 歳児]**

<朝の会> (毎週月曜日の朝：全園児合同で歌、挨拶、手遊び)

年長組から年中組までの子ども達は、各人が自分の座るイスを部屋から運び出し、年長組を 最前列に以下、順番にイスをきちんと並べていく。乳幼児クラスは職員に手伝ってもらってイスが用意されている。職員に抱っこされた乳児も明るい表情で集会に参加している。

職員が弾くピアノに合わせて、何曲かの歌声が ホールにひびき渡る。続いて朝のご挨拶。全員で「せんせい おはようございます、みなさん おはようございます」と、元気で大きな声が部屋中で交わされる。

ご挨拶が終わると、子ども達が 4~5 人ずつ前に立ち上がり、お友達の方に向くと、職員が一人ずつに聞いていく。「お名前は?」、「好きな食べ物は?」、「好きなお花は?」 元気に答える子もいれば、一瞬考えたり、答えに詰まったりで、それぞれの個性がにじみ出ている。「ひまわりのみんなは4月からは小学校に入学するんだよ。おめでとう! その他のみんなも一つずつ大きくなり 進級することになるんだよ。先生も代るかも知れないけど仲良く、元気で過ごしましょうね! 子ども達全員元気に「ハイ」。

最後に職員の弾くピアノに合わせて、歌と 手おどり (ダンス) で子ども達の異年齢交流がはじまる。「目玉焼きの歌」などに合わせて、腕や足、腰を廻し、軽快なダンスを楽しんでいる。

### **[0 歳児]**

<オムツ替え>

朝、パーテーションの陰で、お気に入りの車の絵のついたオムツシートのおうえでおむつ替えをしてもらおう子どもがいる。遊びに夢中で横に寝かせられるのを嫌がり元気に立ったまま替えてもらっている子どもがいる。

<食事>

4月から1歳のお部屋になるので、慣れるために今日は1歳の部屋で食事をする。1歳の部屋までの行き帰りは列になって行進する。お隣に1歳児がいて、

いつもとちがう場所なので、緊張した顔で、周りを見回す子。スタイはそれぞれ持参の好きなものをして、スプーンで食べ始める。職員に食べるのを手伝ってもらおう子どもがいる。

#### <自由遊び>

車のおもちゃを両手にもって、グルグル走っている。まだたどたどしくしか歩けない子どもが追いつこうとあとを追っている。ままごとコーナーからかごに食器のおもちゃを入れて離れたテーブルまで運び、「いただきます」と食べる真似をしている。ジグソーパズルをしている子どもや、職員に抱かれて甘えている子どもがいる。

#### <午睡>

暗くした保育室で、食事中から寝始めた子どももいて、みな次々と心地よいオルゴールの音で眠りについていく。

### 【1歳児】

#### <食事>

4月から移ってくる0歳児がパーテーションで区切られた隣で、食事をしているので、いつもと違うので、0歳児が気になっている。少し年上ぶって頑張って食べる子どもや、上手にスプーンを使って食べている子どももいる。

#### <自由遊び>

汽車のレールに見立てて張られた赤いテープのなかで、大きなブロックをする子どもや周りをおもちゃの汽車で遊ぶ子。職員に入れ物の中のおもちゃをゆすって音をだしてもらい喜ぶ子どもがいる。

### 【2歳児】

#### <食事>

皆で元気に「いただきます」といって、箸をつかって、食べ始める。揚げ物をなんとか箸でつかもうと苦戦して、職員から、フォークにすると声かけられ、替えてもらう子ども。職員に聞かれた他の子どもたちも数人フォークにする。それでもできなくて、スプーンに変えてもらう子どもがいる。デザートのミカンは、皆、上手にむいて「おいしいね」といっている。

#### <排泄>

職員に声をかけられ、午睡前にトイレに駆け足で行き、スリッパに履き替える。職員に見守られながらトイレを終えると手を洗い、手伝って貰いながらトレーニングパンツにはき替えて寝る準備をしている。

### <集団遊び>

新聞紙を手でちぎって楽しんでいる。それをまるめて投げ合っている。職員  
の差し出す籠に上手に投げ入れる。職員が 4 個の大きなボールに丸めて、今度  
は順番に投げるが、うまくできなくて泣き出す子どもがいる。うまくできない  
と次に回せず、職員に順番だよと教えられている。

### <午睡>

食後、歯磨きの仕上げをしてもらったら、職員の声かけでトイレにいて、  
どんどん着替える子どもや、遅れて、着替えをする子どもがいる。静かなオル  
ゴールの音で、子どもたちは気持ち良さそうに眠りに入っていく。

## 【3,4 歳児】

### <絵の製作>

5 歳児に卒園のプレゼントの絵をクレパスで思い思いに、楽しかった思い出を  
描いている。サプライズだから内緒と指を口に当てる子どもがいる。

## [3 歳児]

### <昼食>

12 時近くになると、午前中のお遊びが終わり、「ちゅうりっぷ」組の子ども達は  
全員でおもちゃをプラスチックケースやボール箱に入れて、片付け始める。  
このおもちゃは、こっちだよとか、ブロックはこのカゴにと、各人が話し合  
い、片付け作業に集中している。片付けが済むと、子ども達は一列に並んでト  
イレタイム！

昼食の時間が来ると職員が食卓テーブルを並べ、布巾できれいに清掃してい  
る。子ども達は一人ずつ自分用のイスを取り出して、テーブル脇にきちんと並  
べていく。自分の座席位置は決まっている。

配膳には、壁に名前が掲示された子ども 2 名が日替わりで当番として、お手  
伝いしている。当番の 2 人は両手をアルコールで消毒して、全員の“よろしく  
お願いします”の声で、食事の配膳に取り掛かる。あらかじめ盛り付けられた  
ご飯、おかず、お茶、お箸など落とさぬよう、こぼさぬように注意してお当番の  
2 人が各テーブルに届ける。わかめと馬鈴薯のみそ汁、デザートのみかんを職  
員が配っている。配膳が完了すると、お当番の「用意はいいですか？」皆で  
「いただきます」。職員が「時計の長い針が 4 の所に来るまでに食べましょう」  
と目標をいう。職員は子ども達と一緒に食事せず、一同を見守っている。食  
アレルギー児が 2 人いると聞いているが、当日のメニューは無害なので普通一  
般食を供していた。代替食や除去食を供する時は食器やトレーの色を変え、誤  
食の無いよう、一般食と区別しているとの事である。

ご飯やおかずのお代わりは自由で、おかずのお代わりを3人ほどがした。隣と話しながら食事を楽しんでゆっくり食べている子どもがいるが、職員は特に急がせたり、強要する事もなくやさしく見守っている。

食べ終わった子から各自、食器をかたづけ始める。決められた時刻になり、皆で「ご馳走様でした」。歯磨きする子ども、パジャマに着替える子ども、好きな本を取り出して読み始める子どもがいる。中央ホールのシートのうえに、3歳以上のこどもが自分の午睡用のマット・ふとんを用意して敷き始めた。

■保育所

グローバルキッズ都筑ふれあいの丘園

評価年度 24年度

評価機関 ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

事業者意見

園開設後4年目を迎え、園の現状をシビアに知り、いろいろな観点から勉強し、園の成長を促す意味で、公正な第三者評価を受審することは大切であると考えました。

受審にあたり、多くの資料を準備する過程で、質問事項を読んでいくうちに自園にとって足りないところ、変化したところ、保育園などの施設では何が求められているのかが次第に解ってきました。そして、自園に足りない所を浮彫にするチャンスであると感じました。

受審結果、出来ていなくてもどかしいところもありましたが、客観的にそしてシビアに園の現状を把握でき、今後努力せねばならないこと、進むべき方向を理解できたと思います。

今後の取組みとして、今回の受審結果で浮き彫りになった改善すべき項目について、園全体で取り組みたいと思います。